6月度生涯研修講座

周術期口腔管理で連携を

診療所での治療方針を解説

臨床・学術部は、大阪警察病院口腔外科の石濱孝二氏を講師に6月21日、生涯研修講座「周術期口腔機能管理における歯科診療所との連携」をM&Dホールで開いた。37人が参加した。

同氏は、最初に周術期管理の対象でもある頭頸部の腫瘍の手術を紹介し、口腔管理の重要性を話した。

周術期口腔管理を実施した場合、合併症の発症率が3割程度から1割程度に減少したとの研究結果を解説。術前術後の口腔ケアにより患者の肺炎発症率が低下、白血球数、CRP値は低く経過し、入院日数が有為に短くなるという結果が出た。

病院での口腔管理の実施の必要性が認識された一方、病院内歯科は飽和状態となっている。そのため病院から一般診療所への周術期管理のための逆紹介の機会が増えると思われる。

口腔管理の治療方針として、5ミリ以上の根尖病巣のあるPer、深いポケットのあるP、過去に感染歴のある智歯などは抜歯対象となる。また、紹介時には入院手術の日程が決定されている場合が多いので、治療が長引く場合はその旨病院に連絡していただくとありがたいとのことだった。

詳しくはhttp://sunstar.toorie.co.jp/cancer/やganjoho.jpの「医学情報」「医科歯科連携講習会テキスト」を参照。参考文献に『周術期口腔機能管理の基本がわかる本』（クインテッセンス出版）がある。

（東住吉区・森啓）

周術期口腔機能管理で合併症が減ったことを報告する石濱孝二氏＝6月21日、M&Dホール

組織部

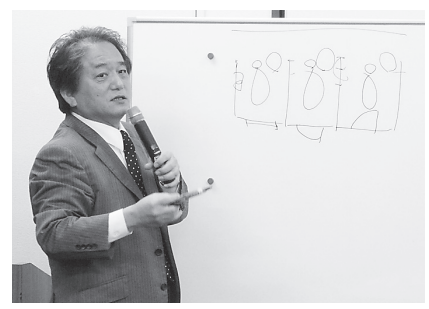
新規開業セミナー開く

軌道に乗せるにはチーム力が必須

組織部は、これから開業を考える会員を対象に「新規開業セミナー」を6月20日に開き、14人が押さえておく開業準備の考えを学んだ。講師は冨本昌之氏（協会副理事長）と副島之彦氏（経税部員）。

冨本氏は、経営を軌道に乗せるためにはチーム力が欠かせないことを強調した。そのためには、①院長のやりたい医療や方針をしっかりスタッフに説明する②安心して働ける環境を整える③適正な評価と裁量権を与える――などを挙げ、院長のリーダーシップが不可欠であるとした。

副島氏は、「開業とは自分が描いた医療を形にするもので、信念を持っていないと業者の言いなりになる」と自身の経験を踏まえた注意喚起をした。①医院建築では、知り合いの医院を見学に行くことや、建設途中で施工会社が倒産した場合や工期の遅れに対する違約金などについて契約書に記載すること②医療機器については、知り合いなどから値段や値引率などを事前に聞いておくことや、ネットなどで掘り出し物が見つかる場合がある――など、ポイントを解説した。



「信念を持って開業を」と話す副島之彦氏＝6月20日、保険医会館

組織部は、新規開業医講習会の「新規個別指導対策編」（会員限定）を9月19日に開く。申し込みは事務局（TEL06－6568－7731）まで。

【日時】9月19日（土）午後5時～7時

【会場】M&Dホール　【会費】会員無料

※『カルテ記載を中心とした指導対策テキスト』をお持ちください。未入会勤務医やスタッフの受講はできません。

論点

18歳選挙権と民主主義

拓殖大学非常勤講師・松村比奈子さん（憲法学）に聞く

選挙の投票年齢を18歳に引き下げる公職選挙法改正案が成立し、来年夏の参議院議員選挙から適用されることになった。この問題をどう考えたらいいのか、憲法学が専門の松村比奈子さんに聞いた。

有権者として

――18歳なんて政治を理解しておらず、投票権付与は日本をだめにするという否定的な意見がある。

やらせてみればいいと思う。料理と一緒で、やらなきゃできるようにはならない。逆に今の大人が政治を理解して立派な判断＝料理ができているのかと問いたい。世界の大勢は18歳に選挙権を認めている。それに、この年齢なら学生だけじゃなくて働いている若者もいる。働いて税金を払っているのに、政治に対して発言権がないのはおかしいだろう。

映画『マイ・フェア・レディ』は下町育ちの花売り娘（オードリー・ヘプバーン）がレディー（淑女）になっていく話。今も印象に残っているのは「レディーと花売り娘との差は、どう振る舞うかにあるのではありません。どう扱われるかにあるのです」という有名なせりふだ。人間は一人前に扱われてこそ成長するし、能力を発揮する。

18歳にどんどん任せるべき。ただし、一人前の有権者としてちゃんと扱うこと。そのためには民主主義教育、主権者教育が欠かせない。

暴走の監視を

――民主主義教育と言われても、よく分からない。どんなイメージなのか？

民主主義と言えば、多数決で物事を決める仕組みだ、くらいに考えている人は多いだろう。その説明では全く不十分だ。民主主義のエッセンスの一つは「平等」だ。平等とは、生まれながらの階級や特権を認めないという考え方。特権の否定が、人権を生み出したのである。

政治権力について考えてみよう。王様一人がオールマイティーの権力、すなわち主権を持っていた中世の専制君主制と異なり、現代の民主制では国民全員が主権を持っている。つまり全員が王様だ。ただ、それでは現実の政治は行えないので代表者に委任する。その手続きが選挙だ。ここで重要なのは、政治家の、代表としての正当性は、国民との契約を守る限りにおいてということ。一度代表になれば、何をやっても許されるわけではない。

さらに問題なのは、権力を持った人間は必ず腐敗し暴走するということだ。主権者である国民は、政治家が公約違反をして暴走しないようチェックし続けなければならない。権力はともすれば暴走する恐いものだと、子どもたちにちゃんと教えるべきだ。

議論する訓練

――民主主義のもう一つのエッセンスは？

合意だ。説得と同意、あるいは契約と言ってもいいかもしれない。現実社会において、物事の正解はあるのではなく作るもの。議論・討論を重ねた結果としての多数決を「とりあえず全体の意見として扱おう」と考えるのが民主主義だ。多数意見が間違うこともあるから、常に議論という検証が必要になる。表現の自由の保障はそのためにある。

小さい時から、議論・討論の練習をして自分の頭でモノを考え、相手を説得する人間を育てることが大切だ。「空気を読め」とか「出る杭は打たれる」という雰囲気を作ってはならない。

18歳選挙権の導入を機に、教育内容の抜本的な改革が必要だ。人権保障の社会として民主主義を維持したいなら、今こそ大人を含め、改めて民主主義を学び訓練するチャンスではないかと思っている。

ホームページ

「会員ページ」のIDとパスワードを変更

協会ホームページの会員専用ページのIDとパスワードを変更しました。IDとパスワードは、毎月10日頃にお届けしています『引去り明細書』に記載しています。ご確認ください。

会員専用ページには『大阪歯科保険医新聞』（最新号）や同紙「研究講座」などを掲載しています。

お問い合わせは事務局までお願いします。

新卒・第二新卒DHの採用なら…
ハモNAVI 学校求人プラン
こんな歯科医院様へオススメ!!
◎求人票を書くのが大変!
◎医院をもっとアピールしたい!
◎長期間の求人広告を出したい!
Wのアピール!! リーズナブルに 長期掲載!!
①60校のDH養成学校へハモナビオリジナル「求人ファイル」設置!
②WEB上特設求人コーナー「新卒求人コーナー」開設!

和田精密歯研グループ
ハーモニック
詳しくはお電話か、ホームページをご覧ください
0800-111-4510（イ～しごと） FAX.06-6393-3232
ハモナビ 検索 クリック!
http://harmonic-net.co.jp/